



# 南山大学大学院 社会科学研究科

# 2027

経済学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

経営学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

総合政策学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

**NANZAN**  
UNIVERSITY

# 社会科学研究科

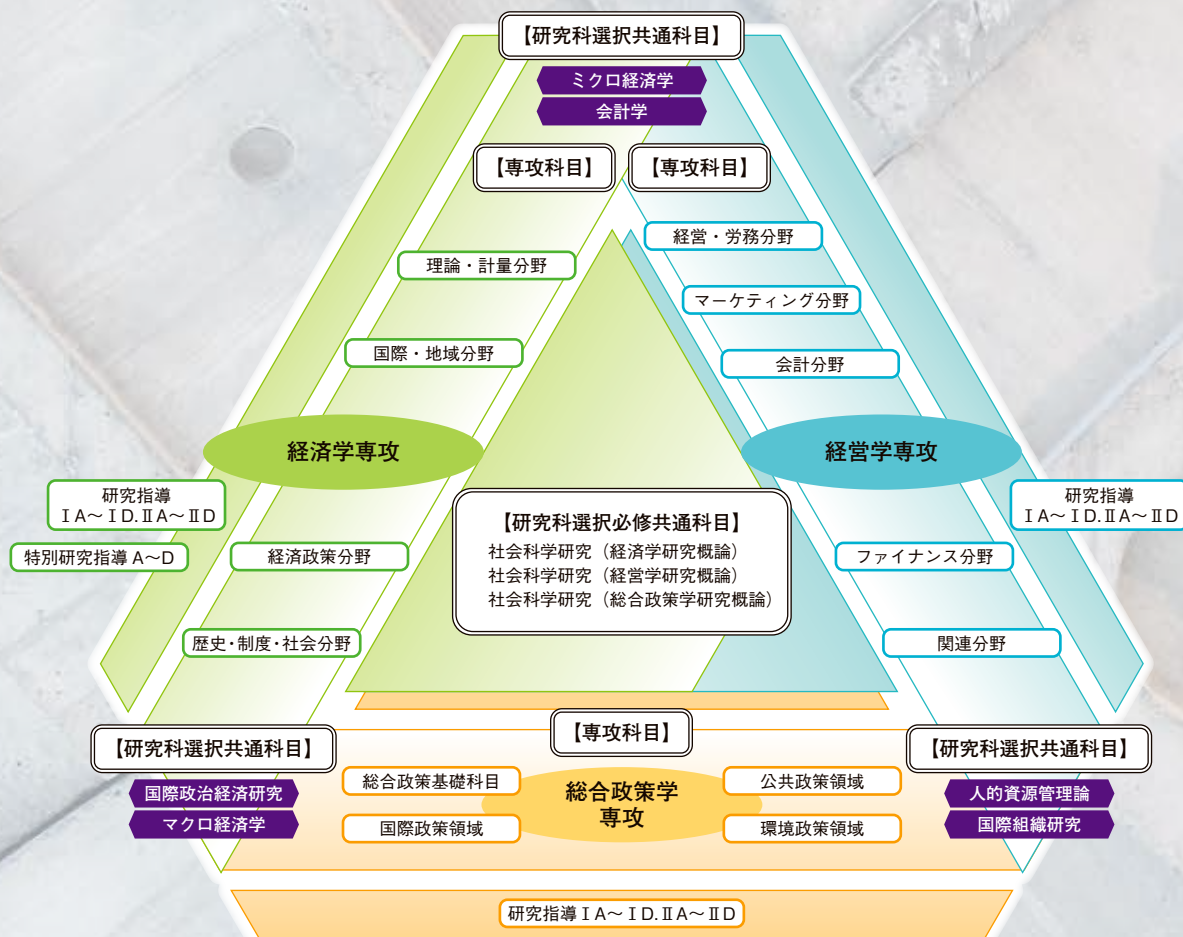
## グローバルな社会の急激な変化に柔軟に対処できる人材の育成

本研究科では、経済学、経営学、政治学、法学等の社会科学を基礎としながら、各専攻の専門性により社会の問題を分析し、グローバルな社会の変化に対して柔軟に対処できる人材を養成します。中部地区のみならず、日本の世界最高水準の企業や国内外の行政機関にこれら優秀な人材を供給し、日本の社会や産業の発展に貢献するとともに、我が国の競争力の強化という社会的な要請に応えます。

## 教育課程について

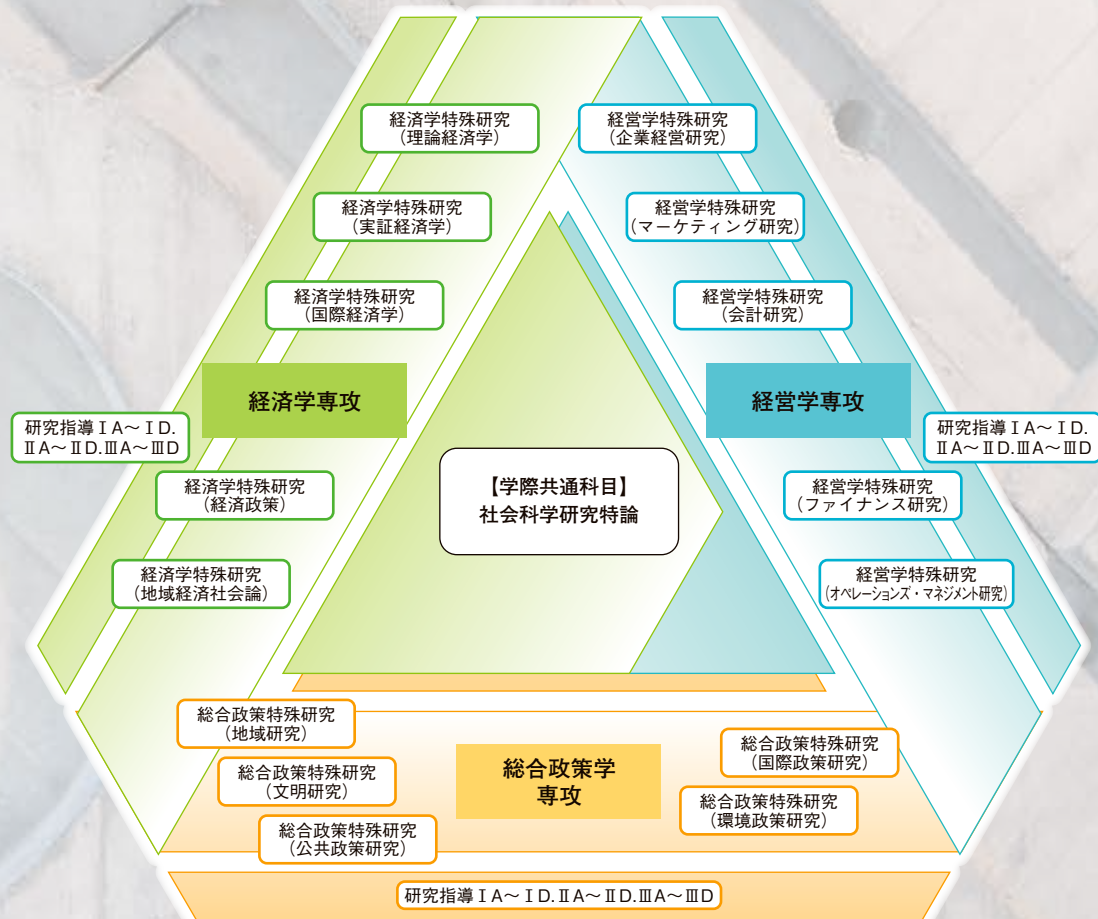
### 【博士前期課程】

博士前期課程では、社会科学研究科の各専攻で共通に修得すべき社会科学の基礎と各専攻の専門性を養います。そのため、**研究科選択必修共通科目**、**研究科選択共通科目**、**専攻科目**ならびに**研究指導科目**からなる教育課程を編成しています。研究科選択必修共通科目は、経済学、経営学、政治学、法学等の社会科学の知識と方法論の基礎を身に付ける科目として配置しています。その基礎の上に立って問題を発見し、解釈できる能力を涵養<sup>かんよう</sup>するために、専攻科目を配置しています。研究指導では、研究の基礎的な素養と分析手法を身に付けた上で、理論的な問題だけでなく実践的な課題にも取り組み、修士論文としてまとめられるよう能力の向上を図ります。(下図参照)



### 【博士後期課程】

博士後期課程では、各専攻が相互補完しながら、経済学、経営学、総合政策学の分野で高度な専門知識と应用能力<sup>かん</sup>を涵養<sup>よう</sup>する教育を行います。経済学、経営学、法政治学、行政学、社会学などの社会科学の諸分野における最新の知見は、3つの専攻に共通する基盤であり、各専攻が相互に他の専攻で研究する分析手法を取り入れ補完しあう土台となります。そのため、社会科学の幅広い分野の研究成果を解釈し、様々な社会科学研究の方法論と政策的含意を学ぶ科目として、**学際共通科目**を配置しています。また、学際共通科目で学ぶ幅広い社会科学の知識や手法を前提として、各専攻の専門性に特化した高度な教育を行うために、専攻科目を配置しています。研究指導では、研究の基礎的な素養を身に付けた上で、理論的、実践的に問題を深く分析し、最終的に博士論文としてまとめられるよう**研究指導科目**を配置しています。(下図参照)



## 経済学専攻

### 専攻の概略

経済を取り巻く環境は、グローバル・エコノミー、経済構造改革、資源エネルギー、あるいは持続的成長といわれる中で急速に変化しています。こうした経済環境の変化を受けて、社会の情勢を的確に判断できる経済分析能力を備えた社会人や、深い学識と訓練された研究能力を備えた指導的役割を担える人材の必要性が一層高まっています。

経済学専攻では、このような人材育成という社会的要請を受けて、高い分析能力や専門的知識を有する高度職業人を目指す人や社会人としてのキャリアアップを目指す人、職業会計人を目指す人、あるいは一層の知的向上を希望する社会人等を対象に、経済学の各領域における研究能力を高め、職場や地域社会でより高く貢献できる人材の育成を目的としています。

### 期待される進路

- 会計士、税理士、コンサルタント等、企業の経営指導や監査役等の職業
- 地域の社会経済状況を的確に捉え、地方公共団体、一般企業、NPO等において調査分析、政策を立案し、提案するような職種
- 専門知識と分析力を生かせる大学や総合研究所などの研究者

### カリキュラム

#### 【博士前期課程】

経済学専攻は、経済学の高度な専門教育を行うと同時に、経済学の専門知識を幅広くかつ柔軟に活用し、実社会に貢献できる、発想の柔軟性や想像力、応用力を身に付けられるよう、1年次において研究科共通科目を履修します。

経済学専攻は、社会科学部研究科の研究科選択必修共通科目である「社会科学部研究（経済学研究概論）」、「社会科学部研究（経営学研究概論）」、「社会科学部研究（総合政策学研究概論）」のうちから4単位以上を、研究科選択共通科目のうちから4単位以上を履修しなければなりません。また、研究科共通科目とは別に、経済学専攻の教育課程には、専攻科目と研究指導科目が設置されています。

専攻科目には、学生の専門領域の科目や幅広い関連科目において、専門的な理論的研究のみならず実社会を科学的に考究する応用的研究能力の育成や、コンピュータを用いた経済分析手法の修得を目的とした経済学の専門分野の科目があります。基礎的な専門科目、分析手法に関する科目、さらに、学生が自ら関心を寄せる特定の経済問題やトピックスに焦点を当て、知識の修得や拡充のみならず、理解を深化させ、経済問題を自分で考える能力を育成したり、分析力を高めたりするための科目を配置しています。これにより、高度な専門的業務へ貢献できるための考察力や知識、分析力を身に付けることができます。（下表参照）

分類	専攻科目一覧
主要分野に関する科目	「財政学」「金融論」「国際経済学」「開発経済学」「労働経済学」「地域経済学」など
分析手法に関する科目	「理論経済学」「計量経済分析」「データ解析」「経済統計論」「国際金融論」など
その他	「消費社会論」「日本・アジア経済関係論」「労働政策論」「租税法研究」「日本経済史研究」など

専攻科目は、講義科目ですが、学生参加を重視した調査・報告とディスカッションを中心に進められており、学生の研究力向上を目指しています。また、社会人学生も多く、一般学生と相互に刺激を与えながら、多様な考え方や見方を身に付けることができます。

講義は、昼間授業時間帯のみならず、夜間や週末にも開講しています。また、毎週1回の講義形式以外に、週末の1日に数回の連続講義を行う形式での講義もあり、フレキシビリティを持った教育体制となっています。



#### 【博士後期課程】

学際共通科目では、各専攻で専門的な知識を修得し研究を行っていく前提として、全ての専攻に共通する、「社会科学部研究特論」を配置し、研究科各専攻の学際共通科目（必修2単位）とします。この科目は、1年次において修得するものとし、社会科学の諸分野（経済学、経営学、法政治学、行政学、社会学等）における最新の研究論文を紹介し、それらの研究成果に関する理解を深めます。特に研究テーマの背景、研究意義、研究アプローチ、導き出された研究成果と課題について解説し、様々な社会科学部研究の方法論と政策的含意を学びます。また、これらの解説を通じて研究倫理についても理解を深めることも特色です。

経済学専攻では、専攻領域における研究者として、自立した研究活動を行うに必要な高度の研究能力を身に付けられるよう、各種専攻科目を設置しています。分析手法とトピックスという二つの観点から経済学の関連領域を広く網羅するため、専攻科目としては、「経済学特殊研究（理論経済学）」、「経済学特殊研究（実証経済学）」、「経済学特殊研究（国際経済学）」、「経済学特殊研究（経済政策）」、「経済学特殊研究（地域経済社会論）」の5つの2単位科目を配置します。学生は自身の研究における主な分析手法を鑑みて、これらの科目を履修することができるのが特色です。

## 経営学専攻

## 専攻の概略

生産拠点の海外移転、経済活動のグローバル化とそれを可能にする情報通信ネットワークの急速な進歩などにより、企業を取り巻く環境は日々変化していますが、一過性の流行にとらわれず、企業が直面する経営環境ならびに企業が行う様々な行動を理論的および実践的に適切に理解するための能力を高めるためには、企業および企業のステークホルダーの視点に立ち、企業環境および企業行動の観点から分析し・検討することが必要です。

本専攻では、グローバル化・情報化に伴って複雑になってきた企業活動において、経営に関する高い見識と高度な専門知識・技術を持つ人材の育成、とりわけ、経営学に関する専門領域において学術的探求能力を身に付けた、国際社会・地域社会の発展に寄与する経営学の研究者を育成することを主たる目的とします。



## 期待される進路

- 会計士、税理士、コンサルタント等企業実務の監査や再建計画等を提案するような職業
- 一般企業の国際・海外部門、NGO、NPO等
- 専門知識と分析力を生かせる大学や総合研究所などの研究者

## カリキュラム

## 【博士前期課程】

本専攻では、経営学全般を広く修めて国際社会・地域社会の発展に寄与する人材を育成するため、研究科選択必修共通科目、研究科選択共通科目ならびに専攻科目、研究指導科目を設定しています。

経営学の主要分野であり、かつ他専攻学生にとっても学修ニーズの高い領域である「会計学」「人的資源管理論」は研究科選択共通科目として配置します。

専攻科目としては、経営学の主要分野に関する科目、企業経営を取り巻く企業の内部および外部環境ならびに企業行動の観点からより高度な専門的知識・技術を修得するための科目、学際領域的な科目を配置します。(下表参照)

分類	専攻科目一覧
基礎的な専門科目	「経営組織論A・B」「ファイナンス論A・B」「マーケティング論A・B」「財務会計論」など
高度な専門的知識・技術を修得するための科目	「産業・組織心理学」「Corporate FinanceA・B」「投資論」「マーケティング・リサーチ」「流通システム論」「会計監査論」「管理会計論」「原価管理論」「国際会計論」「連結会計論」「経営戦略論」「経営史」など
学際領域的な科目	「経営倫理」「企業の社会的責任」「地域戦略論」「ビジネス経済学」「オペレーションズ・リサーチ」「Business English」「経営数学」「統計学」など

このように、研究科選択必修共通科目、研究科選択共通科目、専攻科目、研究指導科目を適切に配置し、それらを有機的に結合することで、基礎的知識および専門的知識ならびにこれらの応用と実践をバランスよく学修できることが経営学専攻のカリキュラムの特色です。

## 【博士後期課程】

学際共通科目では、各専攻で専門的な知識を修得し研究を行っていく前提として、全ての専攻に共通する、「社会科学部研究特論」を配置し、研究科各専攻の学際共通科目(必修2単位)とします。この科目は、1年次において修得するものとし、社会科学の諸分野(経済学、経営学、法政治学、行政学、社会学等)における最新の研究論文を紹介し、それらの研究成果に関する理解を深めます。特に研究テーマの背景、研究意義、研究アプローチ、導き出された研究成果と課題について解説し、様々な社会科学部研究の方法論と政策的含意を学びます。また、これらの解説を通じて研究倫理についても理解を深めることが特色です。

専攻科目では、経営学の専門性に特化した高度な教育を行うために、経営学の主要分野に関連した専攻科目を配置します。すなわち、「経営学特殊研究(企業経営研究)」「経営学特殊研究(マーケティング研究)」「経営学特殊研究(会計研究)」「経営学特殊研究(ファイナンス研究)」「経営学特殊研究(オペレーションズ・マネジメント研究)」の5つの2単位科目を配置します。

以上により、学生は自身の研究の対象とする内容に応じて、これらの科目を履修することが可能となり、経営学分野の現実的な諸問題についての深い理解と、より実践的な対応策について考究できるような科目配置となっていることが、経営学専攻の特色です。

## 総合政策学専攻

### 専攻の概略

20世紀後半、わが国は急速な経済発展によって先進国の仲間入りを果たしましたが、バブル経済の崩壊以降、経済の低迷によって、国や地方の財政が逼迫し、政治体制も混迷を極めています。一方で、世界に目を向けると、グローバル化や国際秩序の変容によって政治的・経済的な不確実性が増大し、その変化への対応が大きな課題となっています。また、こうした不確実性の高まりは、地球規模での環境問題の解決にも影響を及ぼし、その対応をより困難なものにしています。

本専攻では、このような国際問題、国内問題および両者に共通する環境問題を踏まえ、持続可能な社会の構築に向けて、社会科学の複合的な基礎学問を基に、これらの問題を解決する実践的な政策立案とその実行を果たす高度な専門職業人と、学際的研究能力を有した問題解決志向型の研究者を養成することを目的としています。

### 期待される進路

- 国際機関、一般企業の国際・海外部門、NGO、NPO等で活躍する人材、中央政府等で国際政策を担う人材
- 地域の社会経済状況を的確に捉え、地方公共団体、社会的企業、一般企業、シンクタンク・コンサルティング企業、NPO等において調査分析、政策立案が実践できる人材



### カリキュラム

#### 【博士前期課程】

総合政策学専攻では、現実が生じている様々な国際・国内問題に対して、その問題解決を図るリーダー的人材を養成します。そのため、まず社会科学の諸分野を総合的に理解する研究科選択必修共通科目を修得した上で、国際、公共、環境の各政策領域における主要な諸問題の構造とその解決策を学ぶ各専攻科目を配置します。

現実の問題に対応していく実践的なリーダーを養成するためには、国際政策に関心のある学生は国や地域の文化・歴史観の違いを理解し、社会人ではない一般学生は実際に現場で生じているリアルタイムな問題を理解することが必要になります。そこで専攻基礎科目として、国際社会の多様な世界観を深めるための文明史科目、実務経験のある専任教員と国際、公共、環境の各分野における非常勤の実務教員による「総合政策の課題と方法」を配置します。これらの基礎科目を履修した上で各種問題とその解決方法に関するより深い理解ができるように、研究科選択共通科目と発展応用科目としての専攻科目が配置されます。

発展応用科目としての科目は、国際政策領域、公共政策領域、環境政策領域と幅広く設定し、学生の関心のある科目を自由に選択することができます。

分類	専攻科目一覧
分野横断的な基礎科目	「総合政策の課題と方法」「西洋文明史研究」「東洋文明史研究」「異文化間コミュニケーション論」
国際政策領域	「グローバル・ガバナンス研究」「民族紛争研究」「国際援助政策研究」「アジア政策研究」 「国際経済研究」「開発経済政策研究」
公共政策領域	「行政機構研究」「社会福祉行政研究」「地方財政研究」「現代社会研究」 「経営管理研究」「雇用政策研究」
環境政策領域	「地球環境システム研究」「生態系保全研究」「政策評価研究」「環境経済研究」 「環境社会心理研究」「環境保全研究」「環境倫理研究」

#### 【博士後期課程】

学際共通科目では、各専攻で専門的な知識を修得し研究を行っていく前提として、全ての専攻に共通する、「社会科学研究特論」を配置し、研究科各専攻の学際共通科目（必修2単位）とします。この科目は、1年次において修得するものとし、社会科学の諸分野（経済学、経営学、法政治学、行政学、社会学等）における最新の研究論文を紹介し、それらの研究成果に関する理解を深めます。特に研究テーマの背景、研究意義、研究アプローチ、導き出された研究成果と課題について解説し、様々な社会科学研究の方法論と政策的含意を学びます。また、これらの解説を通じて研究倫理についても理解を深めることが特色です。

総合政策学専攻では、現実が生じている様々な国際・国内問題をいち早く見抜き、その本質に迫る専門知識と分析能力を持つ研究者、またそうした問題を解決するために、総合的かつ緻密な状況分析を行い、合理的で実現可能な政策立案を担える専門家を養成するため、まず社会科学の諸分野における最新の知見を総合的に理解する学際共通科目を修得させた上で、国際政策、公共政策、また両者にまたがる環境政策の各政策領域における主要な諸問題の構造とその解決策を学ぶ各専攻科目を配置します。但し、現実の問題に対応していく実践的なリーダーを養成するためには、特に国際政策に関心のある学生は国や地域の文化・歴史観の違いを理解する必要があります。そこで専攻基礎科目として、国際社会の多様な世界観を深めるための「総合政策特殊研究（地域研究）」「総合政策特殊研究（文明研究）」を配置するとともに、国際問題、国内・地域における公共的問題、環境問題に対応した科目を幅広く設定し、更に実践的な応用の方法を学びます。そのため、「総合政策特殊研究（公共政策研究）」「総合政策特殊研究（国際政策研究）」「総合政策特殊研究（環境政策研究）」を設置します。

以上により、現実が生じている各種問題、政策課題の深い理解を得て、より実践的な政策立案を可能とし、現実社会と向き合った研究課題に取り組むことにより、新しいタイプの大学院に対する社会的要請に応える科目配置となっていることが総合政策学専攻の特色です。

## 研究者紹介

前：博士前期課程

後：博士後期課程

## 経済学専攻

## &lt; 研究指導教員 &gt;

教授 相浦 洋志 Hiroshi Aiura (前) (後 研究指導補助)

**[専攻分野：地域経済学、産業組織論]**

◆研究テーマ：〔長期研究〕空間モデルに基づく理論・実証分析  
〔短期研究〕日本の医療・介護分野における政策評価

◆主な著作：“Health insurance and physicians' practice location choice: A natural experiment in Japan”(共著), Journal of the Japanese and International Economies Vol. 79, 101393(2026年)

教授 蔡 大鵬 Dapeng Cai (前 後)

**[専攻分野：国際経済政策論、産業組織論]**

◆研究テーマ：〔長期研究〕貿易政策の政治経済学  
〔短期研究〕知的財産権の保護等国家間の交渉が必要とする諸問題の経済分析

◆主な著作：“Why Do Governments Subsidize R&D-Intensive Foreign Direct Investment?”(共著), Economic Modelling, Vol.129, 106550(2023年)

教授 林 順子 Yoriko Hayashi (前 後)

**[専攻分野：日本経済史]**

◆研究テーマ：〔長期研究〕ナゴヤ経済の発展基盤について  
〔短期研究〕尾張藩商業政策と商人の経営

◆主な著作：『尾張藩水上交通史の研究』(単著)清文堂(2000年)、『新修名古屋市史』資料編近世2(共著)(2010年)、『名古屋城の描写と意識の変遷』「近世における城下町内河川の維持」(単著)『城下町と日本人の心性』岩田書院(2016年)

教授 神野 真敏 Masatoshi Jinno (前) (後 研究指導補助)

**[専攻分野：社会保障]**

◆研究テーマ：〔長期研究〕年金財政の在り方  
〔短期研究〕外国人労働者が年金財政へ及ぼす影響

◆主な著作：Jinno and Yasuoka, "Economic benefits of immigration for natives: the effects of immigrants through the school system," International Review of Economics, Vol. 69, 2022, pp.125-143.

教授 前林 紀孝 Noritaka Maebayashi (前) (後 研究指導補助)

**[専攻分野：マクロ経済学、経済成長論、財政学、公共経済学]**

◆研究テーマ：〔長期研究〕高齢化社会と持続可能な公的年金制度の設計  
〔短期研究〕グローバルな法人税競争の動学的厚生分析

◆主な著作：“The pace of fiscal consolidations, fiscal sustainability, and welfare: An overlapping generations approach”, Journal of Macroeconomics, Vol.75, (2023年)

教授 太田代 幸雄 Yukio Otashiro (前) (後 研究指導補助)

**[専攻分野：国際経済学]**

◆研究テーマ：〔長期研究〕国際経済における諸問題の理論的研究  
〔短期研究〕国際経済における混合寡占および民営化政策に関する研究

◆主な著作：“International Cross-Ownership of Firms and Strategic privatization policy”(共著), Journal of Economics Vol.116, Issue1(2015年)

教授 寶多 康弘 Yasuhiro Takarada (前 後)

**[専攻分野：国際貿易論]**

◆研究テーマ：〔長期研究〕貿易の利益と貿易政策  
〔短期研究〕地域貿易協定、貿易と企業の競争力、開放経済下の環境・資源政策

◆主な著作：“Standards Policy and International Trade: Multilateralism versus Regionalism”(共著), Journal of Public Economic Theory Vol.22, Issue 5, pp.1420-1441 (2020年)

教授 上田 薫 Kaoru Ueda (前 後)

**[専攻分野：ミクロ経済学]**

◆研究テーマ：〔長期研究〕応用ミクロ経済学  
〔短期研究〕公共選択論

◆主な著作：“Intra-group Heterogeneity in Collective Contests” Social Choice and Welfare, Vol.43, Issue1 pp.219-238(2014年)

教授 荒井 智行 Tomoyuki Arai (前) (後 研究指導補助)

**[専攻分野：経済学史、経済思想史]**

◆研究テーマ：〔長期研究〕18・19世紀のイギリス経済学史研究  
〔短期研究〕経済学方法論の多元性と貧困の経済思想史

◆主な著作：『スコットランド経済学の再生—デュガルド・スチュアートの経済思想』(単著)昭和堂(2016年)、『愉楽の経済学—マルサスの思想的水脈を辿って』(共著)昭和堂(2023年)

教授 林 尚志 Takashi Hayashi (前) (後 研究指導補助)

**[専攻分野：開発経済学]**

◆研究テーマ：〔長期研究〕アジアの経済発展と海外直接投資  
〔短期研究〕日系メーカーアジア子会社における生産・技術移転および人材育成

◆主な著作：「[知の専有vs.知の共有]の違いをもたらす2つの要因：日本企業アジア子会社における比較事例研究」『国際ビジネス研究』第10巻第2号(2018年)

教授 稲垣 一之 Kazuyuki Inagaki (前 後)

**[専攻分野：国際金融論]**

◆研究テーマ：〔長期研究〕国際資本移動の決定要因  
〔短期研究〕ロボット資本の台頭が国際資本移動に与える影響

◆主な著作：“International Capital Flows in the Process of Longevity Catch-up”, Macroeconomic Dynamics, Volume 29, e55 (2025年)、“Understanding the Gains from Wage Flexibility in a Currency Union: The Fiscal Policy Connection”(共著), Macroeconomic Dynamics, Volume 29, e65(2025年)

教授 岸野 悦朗 Etsuro Kishino (前)

**[専攻分野：租税論、租税法]**

◆研究テーマ：〔長期研究〕法人課税についての研究  
〔短期研究〕確定申告の効力と滞納処分

◆主な著作：『富裕税復活の可能性』『南山経済研究』33巻3号(2019年)、『戦後税務行政の状況とその後の展開』『南山経済研究』34巻3号(2020年)、『ポイント制度に係る税務上の取扱い』『南山経済研究』35巻2号(2020年)、『職務発明として支出する特許法35条4項における「相当の利益」の課税仕入れ該当性』『税法学』584号(2020年)

教授 宮崎 浩伸 Hironobu Miyazaki (前)

**[専攻分野：経済統計論]**

◆研究テーマ：〔長期研究〕経済データによる実証分析  
〔短期研究〕M&Aの実証分析

◆主な著作：How M&As Impact Acquirers' R&D: Japanese Pharmaceutical Industry International Review of Management and Business Research, Vol.6 Issue.2, pp.625-634, (2017年)

教授 阪本 俊生 Toshio Sakamoto (前 後)

**[専攻分野：経済社会学]**

◆研究テーマ：〔長期研究〕情報化と社会関係資本  
〔短期研究〕プライバシーと監視社会化

◆主な著作：『ポスト・プライバシー』青弓社(2009年)、『禁欲と強欲』(共著)、講談社(2010年)、『新自殺論』青弓社(2020年)

教授 都築 栄司 Eiji Tsuzuki (前 後)

**[専攻分野：金融論、マクロ経済学]**

◆研究テーマ：〔長期研究〕金融政策と経済成長の理論研究  
〔短期研究〕遅延微分方程式を用いた政策ラグの動学分析

◆主な著作：“Policy Lag and Sustained Growth”(共著), Italian Economic Journal Vol.5 Issue 3, pp.403-431(2019年)

教授 湯浅 豊生 Toyomu Yuasa (前)

**[専攻分野：租税論、租税法]**

◆研究テーマ：〔長期研究〕所得区分の研究  
〔短期研究〕行政規則の法規性

◆主な著作：「所得区分の実践のための夜職による経済活動の実態把握の方法—判例を通じた分析や社会学的アプローチ—」『武蔵野大学経営学研究所紀要』第13号(2026年)、「財産評価通達総則6の適用要件：東京地裁令和6年1月18日判決を素材として」『武蔵野大学経営学研究所紀要』第10号(2024年)

# 研究者紹介

准教授 大鐘 雄太 Yuta Ogane

前

【専攻分野：計量経済学、金融論】

( 後 研究指導補助)

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕金融に関する実証研究  
〔短期研究〕新規開業企業の資金調達

- ◆主な著作：“Main bank impairment and corporate cash holdings during the global financial crisis,” *Journal of Corporate Finance*, Vol. 86, 102565 (2024年)

## <研究指導補助教員>

准教授 井上 知子 Tomoko Inoue

前

【専攻分野：理論経済学】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕環境問題の経済的側面の研究  
〔短期研究〕環境政策と経済成長

- ◆主な著作：『越境汚染の動学的分析』勁草書房(2001年)

准教授 西森 晃 Akira Nishimori

前

【専攻分野：財政学、公共経済学】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕市場活動に対する政府関与のあり方  
〔短期研究〕寡占市場における公企業の分析

- ◆主な著作：『公共経済学で日本を考える』中央経済社, B5, 232p, (2017年)

## <講義担当者>

准教授 吉根 勝美 Katsumi Yoshine

前

【専攻分野：情報科学】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕経済学教育eラーニングのための教材と学習システムの開発  
〔短期研究〕公開資料を活用した経済データ解析の学習支援システムの設計と試作

- ◆主な著作：『政府統計からデータ処理教材を作成するインターフェースの試作』『南山経済研究』, 第33巻 第3号, pp.341-351, (2019年)



## 経営学専攻

### <研究指導教員>

教授 赤壁 弘康 Hiroyasu Akakabe

前後

【専攻分野：金融工学、観光経済学】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕ファイナンス工学、観光経済学  
〔短期研究〕確率的経済動学

- ◆主な著作：『コロナ禍後の人口減少観光地を対象とした観光サービス利用制限政策のリアルオプション評価』『リアルオプション研究』13(共著2021年1月)、『価格がネットワーク外部性の影響を受ける資産/商品に対するデリバティブの評価、ヘッジと複製戦略について』『現代ファイナンス』(日本ファイナンス学会)No.28(共著2010年9月)

教授 安藤 史江 Fumie Ando

前後

【専攻分野：経営組織論】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕組織学習論  
〔短期研究〕両利きの経営を実現するメカニズムの研究

- ◆主な著作：『組織学習と組織内地図』(単著)白桃書房(2001年)、『コア・テキスト人的資源管理』(単著)新世社(2008年)、『組織変革のレバレッジ』(共著)白桃書房(2017年)、『コア・テキスト組織学習』(単著)新世社(2019年)、『職場がうまくいかないときの心理学100』(共著)有斐閣(2023年)

教授 後藤 剛史 Takeshi Goto

前

【専攻分野：応用ミクロ経済学】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕企業と法の経済分析  
〔短期研究〕独占禁止法の経済分析

- ◆主な著作：『Fixed Payments in Production Contracts for Private Labels: An Economic Analysis of Japanese Subcontract Act.』(共著), *Applied Approach to the Issues of Societal Institution and Economy*, Springer. (2017年)、『不実表示に対する損害賠償の経済分析』、『応用経済学研究』第15巻(2021年)

教授 石垣 智徳 Tomonori Ishigaki

前後

【専攻分野：マーケティング論、消費者行動論】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕次世代マーケティング支援システムの構築  
〔短期研究〕消費者ベースのマーケティング戦略

- ◆主な著作：『マーケティング革新的展開』(共編著)同文館出版(2007年)、『先を読むマーケティング』(共著)同文館(2016年)

教授 伊藤 彰敏 Akitoshi Ito

前後

【専攻分野：コーポレート・ファイナンス】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕金融コングロマリットが金融市場にもたらす影響の分析  
〔短期研究〕IPO株配分、財務柔軟性、無形資産投資、環境投資

- ◆主な著作：“Two-step price adjustments of IPO book building in Japan”, *Pacific-Basin Finance Journal*, Vol. 78, 101977, 2023(共著).

教授 姜 秉国 Byung-Kook Kang

前後

【専攻分野：経営工学】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕確率的逐次決定問題  
〔短期研究〕シミュレーションを用いた意志決定分析

- ◆主な著作：『ビジネスシミュレーション』創成社(2016年) “Optimal Stopping Problem with Double Reservation Value Property”, *European Journal of Operational Research*, Vol.165, No.3,(2005年)

教授 川北 真紀子 Makiko Kawakita

前後

【専攻分野：マーケティング、消費者行動、広報】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕広報・PR、芸術のマーケティング、地域貢献  
〔短期研究〕企業の芸術支援、芸術の消費者、商品開発

- ◆主な著作：『アートプレイスとパブリック・リレーションズ——芸術支援から何を得るのか』(共著)有斐閣(2022年)、『広報・PR論—パブリック・リレーションズの理論と実際』改訂版』(共著)有斐閣(2022年)

教授 KHONDAKER, Rahman

前後

【専攻分野：日本経営論、人的資源管理論、国際経営論】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕日本的経営の諸側面  
〔短期研究〕アジア諸国の経営

- ◆主な著作：“Accounting Irregularities at Toshiba: An Inquiry into the Nature and Causes of the Problem and Its Impact on Corporate Governance in Japan”(共著), *Global Advanced Research Journal of Management and Business Studies*, (2016年)、『アジアにおける人的資源管理—その実践・理論・文化』(単著)中央大学出版部(2018年)

前：博士前期課程

後：博士後期課程

教授 窪田 祐一 Yuichi Kubota

前後

【専攻分野：管理会計論、原価計算論】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕マネジメント・コントロール  
〔短期研究〕組織間管理会計、イノベーション実現のための管理会計
- ◆主な著作：『アメリカ経営が組織の結束力を高める一ケースからわかる組織変革成功のカギー』（共著）中央経済社（2017年）、『業績管理会計』（共著）中央経済社（2010年）、『イノベーション戦略とマネジメント・コントロールの有効性一両利き経営のための示唆ー』（共著）『管理会計学』第30巻第1号（2022年）、『戦略的提携における組織間マネジメント・コントロールー共同開発を中心にー』（『原価計算研究』第36巻第1号（2012年））

教授 中島 裕喜 Yuki Nakajima

前後

【専攻分野：日本経営史】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕近現代日本の科学技術の発展  
〔短期研究〕戦後のエレクトロニクス産業史
- ◆主な著作：『日本の電子部品産業ー国際競争優位を生み出したもの』名古屋大学出版会（2019年）

教授 奥田 隆明 Takaaki Okuda

前後

【専攻分野：経営戦略論、交通事業論、地域戦略論】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕交通プロジェクトを活用した地域戦略の策定  
〔短期研究〕訪日外国人の消費行動分析、デジタル・イノベーション
- ◆主な著作：『国際航空路線の就航による受益地域の特定～訪日外国人流動表を用いた周遊型観光消費モデルの開発～』（『地域学研究』、Vol.48、No.2（2019年））、『高速鉄道投資による外国人観光消費の変化～中国と台湾の比較分析～』（『地域学研究』、Vol.49、No.2（2020年））

教授 竹澤 直哉 Naoya Takezawa

前後

【専攻分野：金融工学、ファイナンス】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕国際投資、リスクの評価  
〔短期研究〕リアルオプションによりリスク評価
- ◆主な著作：“How Did Japanese Investments Influence International Art Prices?”『Journal of Financial and Quantitative Analysis』(2009年)、『The Japanese Finance: Corporate Finance and Asset Management in Changing Japan』(共著) JAI Elsevier Science(2003年)

教授 安田 忍 Shinobu Yasuda ※2026年度研究休暇(予定)

前後

【専攻分野：会計制度論、監査論】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕会計基準設定の理論と会計監査制度の関係  
〔短期研究〕不正会計の構造と監査判断のあり方
- ◆主な著作：『財務会計論』（共著）税務経理協会（2007年）、『監査判断を巡る制度的諸課題の考察』（『会計』第177巻第5号（2010年））

## ＜研究指導補助教員＞

教授 湯本 祐司 Yuji Yumoto

前

【専攻分野：流通論、ビジネス経済学、マーケティング論】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕流通・マーケティングの経済分析  
〔短期研究〕不完全競争市場における価格差別
- ◆主な著作：『応用経済学シリーズ第2巻 トピックス応用経済学Ⅰ 貿易、地域、産業、企業』（共著）勁草書房（2015年）、『返品制、再販制と経済厚生』（共著）『流通研究』第2巻第2号（1999年）、『既存店舗を利用したネットスーパー事業への参入と競争』（『南山経営研究』第27巻第3号（2013年））

## ＜講義担当者＞

教授 BIERI, Thomas

前

【専攻分野：Applied Linguistics-Teaching Second Language】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕Language Teaching Action Research - Extensive Reading  
〔短期研究〕Applying Educational Technology in Language Teaching
- ◆主な著作：Using presentation software, peer instruction, and learner reflections to develop communication skills. In P. Hubbard & S. Iouannou-Georgiou(Eds.)『Teaching English Reflectively with Technology. Canterbury: IATEFL. (2017年)』

准教授 池田 亮一 Ryoichi Ikeda

前

【専攻分野：金融経済学】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕資産価格理論および実証研究  
〔短期研究〕マクロ・ファンダメンタルズによる資産価格分析
- ◆主な著作：“Credit Risk Analysis with Creditor's Option to Extend Maturities”（共著）、『Annals of Finance』(2016)、Springer, Vol.12

教授 南川 和充 Kazumitsu Minamikawa

前後

【専攻分野：流通論、マーケティング論】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕流通の経済分析  
〔短期研究〕補完製品市場における競争分析
- ◆主な著作：“Vertical Integration. Bundled Discounts and Welfare.”（共著）『Information Economics and Policy. Vol.21. Issue1（2008年）』

教授 野口 晃弘 Akihiro Noguchi

前後

【専攻分野：財務会計論、国際会計論】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕ストック・オプションの会計  
〔短期研究〕分散型自律組織がもたらす資本会計上の課題に関する研究
- ◆主な著作：“Effect of the Inconsistency in Accounting Standards on the Choice of Financial Instruments: The Case of Debt Issued with Stock Purchase Warrants and Convertible Debt by Japanese Companies.”『The International Journal of Accounting, Vol.33 No.3（1998）』、『条件付新株発行の会計』（白桃書房（2004年））

教授 高田 一樹 Kazuki Takada

前後

【専攻分野：経営倫理学、企業の社会的責任論】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕企業の社会的責任に関する規範理論  
〔短期研究〕経営倫理教育に関する制度と実践
- ◆主な著作：『第5章 経営倫理と倫理教育——学知、技術、実践の習得法』、日本経営倫理学会編『現代経営倫理学入門——サステナビリティ経営を目指して』文眞堂（2023年）所収、『経営する知徳としてのフロネシス——持続可能な開発目標（SDGs）の達成に寄与する民間企業の倫理的思考』（『日本経営倫理学会誌』27巻（2020年））

教授 上野 正樹 Masaki Ueno

前

（後 研究指導補助）

【専攻分野：経営戦略、製品開発論】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕製造企業の経営戦略  
〔短期研究〕新興国ビジネス
- ◆主な著作：『新興国戦略の再考：本国優位性の活用と水平展開プロセス』（『国際ビジネス研究』第10巻第1号（2018年））  
『図解インド経済大全』（共編著）白桃書房（2021年）

准教授 余合 淳 Atsushi Yogo

前

【専攻分野：人的資源管理論、組織行動論】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕人事管理の効果と従業員による受容  
〔短期研究〕働き方の人事施策の構造とその効果
- ◆主な著作：『人事管理のリサーチ・プラクティス・ギャップー日本における関心の分化と架橋』（共著）有斐閣（2024年）、『歯科衛生士の就業継続ー専門性とステレオタイプに着目した質的データ分析ー』（共著）、『キャリアデザイン研究』第20巻（2024年）

教授 中尾 陽子 Yoko Nakao

前

【専攻分野：心理学、人間関係トレーニング】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕人間関係トレーニングプログラムの開発とその効果研究  
〔短期研究〕ラボラトリー方式の体験学習による人間関係トレーニング実践と効果研究
- ◆主な著作：『人間関係の学び方 一人間性豊かな関係を育む「ラボラトリー方式」の体験学習』の理論と実践ー』（分担執筆）、ナカニシヤ出版（2024年）

准教授 山下 忠康 Tadayasu Yamashita

前

【専攻分野：金融システム（銀行経営）】

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕銀行・企業間関係に関する研究  
〔短期研究〕個人の金融資産運用に関する研究
- ◆主な著作：『知的資産ファイナンスの探求』（共著）中央経済社（2007年）

# 研究者紹介

## 総合政策学専攻

### < 研究指導教員 >

教授 藤本 潔 Kiyoshi Fujimoto

前後

[専攻分野：環境地理学、地形学、地生態学]

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕地形・生態系プロセスを考慮した地域・地球環境保全に関する研究  
〔短期研究〕沿岸低地の炭素蓄積機能 マングローブ生態系への海面上昇の影響評価
- ◆主な著作：『マングローブ—なりたち・人びと・みらい—』（共著）古今書院（2003年）、『微地形学—人と自然をつなぐ鍵—』（共編著）古今書院（2016年）、『地形でとらえる環境と暮らし』（共著）古今書院（2020年）

教授 星野 昌裕 Masahiro Hoshino

前後

[専攻分野：現代東アジア研究、国際関係論、政治学]

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕東アジアにおける地域統合と民族主義  
〔短期研究〕中国における政治改革と民族問題
- ◆主な著作：『Preferential Policies for China's Ethnic Minorities at a Crossroads』（単著）Journal of Contemporary East Asia Studies, Volume 8(2019年)『現代中国政治外交の原点』（共著）慶應義塾大学出版会（2013年）

教授 籠橋 一輝 Kazuki Kagohashi

前

[専攻分野：エコロジー経済学、環境経済学、地球環境学]

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕持続可能な発展を実現するための制度的基盤の解明  
〔短期研究〕自然資本の代替可能性、関係価値の理論と実証、豪州ランドケア
- ◆主な著作：『水と大地の環境学——持続可能性の根を求めて——』（単著）晃洋書房（2024年）、『The Effects of International Trade on Water Use』（共著）、PLOS One（2015年）、『豪州ランドケアの環境政策史と政策統合』（単著）環境経済・政策研究（2025年）

教授 久村 恵子 Keiko Kumura

前後

[専攻分野：組織心理学、組織行動学、人的資源管理論]

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕経営組織におけるメンタリングの制度的活用可能性について  
〔短期研究〕経営組織における感情作業および感情労働に関する研究
- ◆主な著作：『キャリア発達に関する心理学』（共著）川島書店（2002年）、『プロテジェの基礎能力とメンタリングの有益性との関係』（単著）『南山経営研究』24(1・2)p.p.21-43（2009年）、『実践心理学講座8 対人関係と恋愛・友情の心理学』（共著）朝倉書店（2010年）、『感情労働をめぐる影響要因の概観に関する研究』（共著）『南山経営研究』35(3)（2021年）

教授 前田 洋枝 Hiroe Maeda

前

（後 研究指導補助）

[専攻分野：環境社会心理学]

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕環境政策・公共政策への市民参加促進プロセスの開発とその効果の検討、持続可能な社会づくりにチャリティーショップが果たす役割とその効果  
〔短期研究〕市民討議会の普及・継続が参加者・地域住民に及ぼす効果
- ◆主な著作：『環境行動の社会心理学—環境に向き合う人間のこころと行動—（シリーズ21世紀の社会心理学11）』（共著）北大路書房（2008年）、『リスクガバナンスの社会心理学』（共著）ナカニシヤ出版（2014年）

教授 茂木 康俊 Yasutoshi Moteki

前

（後 研究指導補助）

[専攻分野：行政学、地方自治制論]

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕公共組織における意思決定、予算過程  
〔短期研究〕政策評価・行政評価の手法、地方自治体の窓口サービスの研究
- ◆主な著作：『Customer Satisfaction with Branch Office Services in Higashihiroshima, Hiroshima Prefecture』（単著）Public Organization Review（2023年）

教授 平岩 俊司 Shunji Hiraiwa

前後

[専攻分野：国際政治学、東アジア研究]

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕朝鮮半島をめぐる国際政治、対外政策論  
〔短期研究〕北朝鮮外交論、日本の対アジア政策
- ◆主な著作：『朝鮮民主主義人民共和国と中華人民共和国—「唇齒の関係」の構造と変容』（単著）世織書房（2010年）、『北朝鮮—変貌を続ける独裁国家』（単著）中央公論新社（2013年）、『東アジアの政治社会と国際関係』（共著）放送大学教育振興会（2016年）

教授 石川 良文 Yoshifumi Ishikawa

前後

[専攻分野：都市環境政策、地域経済]

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕都市環境政策の経済評価  
〔短期研究〕次世代産業の地域経済効果分析
- ◆主な著作：『環境政策統合—日欧政策決定過程の改革と交通部門の実践』（共著）ミネルヴァ書房（2013年）、『地域公共交通政策の新展開』（共著）勁草書房（2022年）、『Population change and economic impacts on the affected region: the case of massive earthquake in Japan』（単著）、Resilience and Urban Disasters: Surviving Cities, Springer,（2019年）

教授 金綱 基志 Motoyuki Kanetsuna

前後

[専攻分野：国際経営論、多国籍企業論]

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕企業内、企業間の国際知識移転・共有メカニズムの研究  
〔短期研究〕企業間の協調的行動と信頼形成メカニズムに関する研究
- ◆主な著作：『暗黙知の移転と多国籍企業—知識の国際移転を可能とする組織メカニズム—』（単著）立教大学出版会（2009年）、『R&D and Inter-firm Knowledge Flow in Japan's Shipbuilding Industry: Comparative Analysis of Factors that Promote Knowledge Flow Between Domestic and Overseas Partners』（共著）、Management for Sustainable and Inclusive Development in a Transforming Asia, Springer,（2021年）

教授 李 彦銘 Li Yanming

前

[専攻分野：地域研究、国際政治学]

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕戦後の日中関係、対外政策の決定過程  
〔短期研究〕中国の産業政策と対外政策の関連、日本の産業政策に関わる実務者のオーラルヒストリー
- ◆主な著作：『日中関係と日本経済界—国交正常化から「政冷経熱」まで』（単著）勁草書房（2016年）、『共振する不安、連鎖する米中対立』（共著）千倉書房（2025年）、『大平正芳の中国・東アジア外交—経済から環太平洋連帯構想まで』（共著）PHPエディタースグループ（2024年）

教授 三輪 まどか Madoka Miwa

前後

[専攻分野：社会保障法]

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕交渉力や情報等の格差ある当事者間における公平な法制度のあり方  
〔短期研究〕高齢者の自己決定を支える法制度のあり方
- ◆主な著作：『契約者としての高齢者』（単著）信山社（2019年）、『大学生のための法的思考入門』（共編著）みらい（2023年）、『変わる福祉社会の論点【第4版】』（共編著）信山社（2025年）

教授 小尾 美千代 Michiyo Obi

前後

[専攻分野：国際政治学、国際政治経済学]

- ◆研究テーマ：〔長期研究〕国際政治経済学における社会構成主義  
〔短期研究〕自由貿易と気候変動問題をめぐるグローバルガバナンス
- ◆主な著作：『Environmental Risk Mitigation』（共著）Palgrave Macmillan（2016年）、『日米自動車摩擦の国際政治経済学：貿易政策アイデアと経済のグローバル化』（単著）国際書院（2009年）

前：博士前期課程  
後：博士後期課程

教授 O'CONNELL, Sean 前

**[専攻分野：異文化間ビジネスコミュニケーション学]**  
◆研究テーマ：〔長期研究〕職場における異文化間ビジネスコミュニケーションに関する研究  
〔短期研究〕多文化共生職場の在り方に関する研究  
◆主な著作：『Negotiating Cultural Intelligence: An Investigation of Australian Expatriate and Japanese Local Staff Intercultural Workplace Communication』(単著)CreateSpace(2017年)、『The Impact and Role of High Language Competency and Cultural Intelligence on Workplace Communication: An Analysis of Australian Expatriates in Japan』(単著)『多言語多文化研究』第12巻1号(2006年)

教授 大八木 英夫 Hideo Oyagi 前  
(後 研究指導補助)

**[専攻分野：水圏環境科学、自然地理学]**  
◆研究テーマ：〔長期研究〕“水”を基軸とした地球環境変動や人間活動が自然環境に与える影響について  
〔短期研究〕気候変動がもたらす湖沼への熱的環境変化について  
◆主な著作：『富士山の単語帳』(共著)世界文化社(2013年)、『豊田市新修豊田市史 23別編 自然』(共著)豊田市(2018年)

教授 POTTER, David 前後

**[専攻分野：政治学]**  
◆研究テーマ：〔長期研究〕日本のODA  
〔短期研究〕アジアの市民社会  
◆主な著作：『Media, Bureaucracies and Foreign Aid』(共著)Palgrave(2004年)、『NGOS in International Politics』(共著)Kumarian(2006年)、『Foreign Aid Competition in Northeast Asia』(共著)Kumarian/Stylus(2012年)

教授 佐藤 創 Hajime Sato 前後

**[専攻分野：開発経済学、国際経済論、国際開発論]**  
◆研究テーマ：〔長期研究〕開発途上国の経済発展と制度・産業変化  
〔短期研究〕アジア諸国における産業構造変化の研究  
◆主な著作：『試される正義の秤：南アジアの開発と司法』(単著)名古屋大学出版会(2020年)、『インドの公共サービス』(共編著)アジア経済研究所(2017年)、『Varieties and Alternatives of Catching up: Asian Development in the Context of the 21st Century』(共編著)Palgrave-Macmillan(2016年)

教授 鶴見 哲也 Tetsuya Tsurumi 前後

**[専攻分野：環境経済学]**  
◆研究テーマ：〔長期研究〕経済成長と環境  
〔短期研究〕主観的幸福、持続可能な発展  
◆主な著作：『幸福の測定：ウェルビーイングを理解する』(共著)中央経済社(2021年)、『Are cognitive, affective, and eudaimonic dimension of subjective well-being differently related to consumption? Evidence from Japan』(共著), Journal of Happiness Studies (2021年)

教授 山田 望 Nozomu Yamada 前後

**[専攻分野：キリスト教教理史、文明論]**  
◆研究テーマ：〔長期研究〕諸宗教・宗派間の対立と共存  
〔短期研究〕古代キリスト教異端の排斥メカニズム  
◆主な著作：『キリストの模範—ペラギウス神学における神の義とバイディア』(単著)教文館(1997年)、『キリスト教修道制—周縁性と社会性の狭間で』(共著)Sophia University Press(2003年)

教授 山田 哲也 Tetsuya Yamada 前後

**[専攻分野：国際法、国際組織論]**  
◆研究テーマ：〔長期研究〕国際組織を通じた規範創設と国際法学  
〔短期研究〕戦間期の国際秩序形成史、日本の近代国際法の受容  
◆主な著作：『国際機構論入門(第2版)』(単著)東京大学出版会(2023年)、『国連が創る秩序：領域管理と国際組織法』(単著)東京大学出版会(2010年)

准教授 太田 和彦 Kazuhiko Ota 前  
(後 研究指導補助)

**[専攻分野：環境倫理学、食農倫理学]**  
◆研究テーマ：〔長期研究〕社会の持続可能性を向上させるための移行・転換プロセスの支援  
〔短期研究〕フードシステムの移行・転換に関わる超学際的なプロジェクトの分析・実施  
◆主な著作：『環境倫理学』(共著)昭和堂(2020年)、『食農倫理学の長い旅—(食べる)のどこに倫理があるのか』(翻訳)勁草書房(2021年)、『みんなで作る「いただきます」』(共著)昭和堂(2021年)

准教授 塩寺 さとみ Satomi Shiodera 前

**[専攻分野：植物生態学、地球環境科学]**  
◆研究テーマ：〔長期研究〕人間活動による生態系への影響、自然資源の保全と持続的利用  
〔短期研究〕東南アジア地域における生物多様性と生態系機能  
◆主な著作：“TRY Plant Trait Database? Enhanced Coverage and Open Access” (共著) Global Change Biology(2019年)、『熱帯泥炭地林の人為的攪乱とその回復可能性』(共著)『日本生態学会誌』第70巻1号, 日本生態学会(2020年)、『Tropical Peatland Eco-management (chap. 1 “Basic Information About Tropical Peatland Ecosystems” (共著)Springer Japan,(2021年)



< 研究指導補助教員 >

准教授 狭間 諒多朗 Ryotaro Hazama 前

**[専攻分野：社会学、若者論]**  
◆研究テーマ：〔長期研究〕社会階層論  
〔短期研究〕若者の意識・行動とその階層差  
◆主な著作：『分断社会と若者の今』(共編著)大阪大学出版(2019年)、『Social change in Japan, 1989-2019 Social status, social consciousness, attitudes and values』(共著)Routledge(2020年)

准教授 澁谷 英樹 Hideki Shibutani 前

**[専攻分野：財政学]**  
◆研究テーマ：〔長期研究〕法人税の実効税率についての理論・実証研究  
〔短期研究〕財政状況資料集を用いた地方財政分析  
◆主な著作：『海外との税率差がわが国の法人実効税率に与える影響：税効果会計に関する注記を用いた推計』(単著)『税に関する論文・選論文集』(2018年)

< 講義担当者 >

准教授 野口 博史 Hiroshi Noguchi 前

**[専攻分野：計量的手法を用いた比較政治学、国際政治学およびインドシナ現代政治、同地域研究]**  
◆研究テーマ：〔長期研究〕政治変動論  
〔短期研究〕インドシナ紛争の体系論的研究  
◆主な著作：『カンボジア共産党のイデオロギーと政策—中国・ソ連・ベトナムの影響と独自性』『アカデミア(人文・社会科学編)』(単著)南山大学(2002年)





## 教育訓練給付制度（指定期間2025年4月～2028年3月）

### ●厚生労働大臣指定教育訓練講座

経済学専攻、経営学専攻、総合政策学専攻では、一定の条件を満たす雇用保険の被保険者（在職者）または保険者であった方（離職者）が教育訓練講座を修了した場合、教育訓練経費の一部がハローワークより支給されます。詳しくは南山大学教務課または最寄りのハローワークへお問い合わせください。

## 南山大学大学院博士後期課程奨学支援制度

博士後期課程に在学する学生を対象に、授業料等を減免し、博士の学位取得を支援することを目的とした「南山大学大学院博士後期課程奨学支援制度」があります。資格審査その他の詳細は、入試要項(※)をご確認ください。

### <制度の概要>

支援内容	授業料および施設設備費の半額を減免する
支援期間	1年間 *ただし、同様の手続きを行うことにより、翌年も引き続き支援を受けることが可能(年度毎に審査有)

※入試要項はこちら▶



## アクセスマップ

- 地下鉄名城線「八事日赤」駅より徒歩約8分
- 地下鉄鶴舞線「いりなか」駅1番出口より徒歩約15分



# 南山大学

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18  
<https://www.nanzan-u.ac.jp/grad/>

入試に関する問い合わせ先

### 入学センター

Phone(052)832-3119 Email ml-grad@nanzan-u.ac.jp

履修内容等に関する問い合わせ先

### 社会科学研究科事務室

Phone(052)832-4341